

提 案 の 概 要

施設名：名古屋市昭和生涯学習センター

団体名：株式会社都市環境サービス

(1) 管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

【 基本方針 】

- ・生涯学習社会の実現に向け、地域に密着した市民の生涯学習活動を促進するため、「まなぶ」（学習のきっかけづくり）、「つながる」（他者との交流を図りながら学習を深める）「いかす」（学習成果を地域社会に還元する）を段階的にすすめるとともに、「まなぶ」「つながる」「いかす」学びが連続的、継続的に広がり、地域と人とがつながりつづける持続可能な生涯学習社会の実現を目指す。
- ・「生涯学習を通じ、市民交流や地域活動を促進する地域・人とのつながりを意識した管理運営」に努め、「生涯学習の経験の減少」「地域とのつながり希薄化」など生涯学習社会を実現するための課題解決、さらには、施設の設置目的及び名古屋市施策重点事項、昭和区の特性・課題の理解、そしてアジア・アジアパラ競技大会の機運醸成を図る事業計画を実現する。

②管理運営体制

【 組織・人員の配置・体制 】

区 分	人 数
総括管理責任者	1人
副総括管理責任者	3人
従事員	8人

- ・上記人員配置のもと、現地学習の引率、イベント開催時やセンターまつりなど利用状況に応じた人員増を図り、利用者の安全確保、円滑な業務運営に取り組み、常に万全な業務実施体制を構築する。

【 人材育成方針 】

- ・名古屋市の代行者として、市民・利用者のために高品質なサービス及び、安全かつ快適な利用を提供することができる人材を育成する。
- ・接遇や危機管理等基礎研修の実施とともに、各業務に対応した専門研修を組み合わせることで、職員の能力向上に努める。
- ・職員のモチベーションを高める社内制度等環境を整備し、向上心を養うことで、働きがいを高め、人材育成を推進する。

【 市民の平等利用に関する考え方 】

- ・ 地方自治法、関係条例及び同施行規則に則し、適正な手続きによる管理運営に努める。
- ・ 施設運営にかかる情報を施設ホームページ、SNS、広告媒体等を駆使し、広く住民に公平に提供する。
- ・ 合理的配慮による社会的障壁の除去等高齢者や障害を持たれている方が安心してご利用いただける環境を構築する。

【 災害時の危機管理体制及び事故発生時の対応方針 】

- ・ 災害時には、名古屋市・消防本部・警察等関係機関との協力、連絡体制を構築し、被害の抑制と事態の収拾に努める。
- ・ 緊急時に、迅速かつ的確な対応ができるよう定期的な防災・避難訓練を実施する。
- ・ 事故発生時には、現場への急行、迅速な救助、救急車の要請を行うなど、被害者の救護を最優先に対応する。また、事件性があるものについては、状況に応じ、警察へ通報する。
- ・ 災害、事故等に備え、AED の使用法を含む一次救命処置や応急手当等研修を定期的の実施し、職員全員に技能習得を図る。

【 施設修繕・保守点検計画 】

- ・ 施設修繕については、緊急修繕の速やかな対応を図るとともに、策定する中長期修繕計画に基づく予防保全に努め、施設の長寿命化を図る適正な修繕の執行に努める。
- ・ 保守点検については、管理実績及び年間保守点検計画に基づき、安全性・効率性・快適性・機能性を追求し、環境に配慮した維持管理を行う。

(2) 実施業務の計画について

①指定管理業務

【 利用者意見の聴取・反映方法 】

- ・ 利用者とのコミュニケーション、ご意見箱の設置、アンケートの実施等により利用者の意見・要望を把握し、サービス向上に努める。
- ・ 収集した意見・要望について、実現可能なものは迅速に準備に取り掛かり、実現困難なものは、理由を明確にしたうえで館内掲示や施設ホームページに公表し、利用者への説明責任を果たす。

【 利用促進策（PR 策） 】

- ・ 講座案内、広報なごや、折込広告等紙媒体、SNS、及び施設ホームページ等web戦略を駆使した広告宣伝を実施し、広く市民に生涯学習情報を提供する。
- ・ Sonoligo への登録。Sonoligo が展開する市内の若年層に対し、講座・イベント等事業の受講料・参加費を無料とする Sonoligo future を広く告知し、若年層の生涯学習活動を推進する。
- ・ 利用者数及び利用件数を拡大する講座等自主事業の実施。
- ・ コワーキングスペースを設置・運用し、若年層の利用促進を図る。
- ・ 喫茶室運営事業者と連携した共同事業を実施し、利便性を向上させ、喫茶室及びセンターの利用拡大を図る。

【 地域連携・ボランティア連携 】

- ・ 公的機関、地域団体、並びに自主学習グループ等関係団体と連携した講座等事業を計画し、生涯学習の振興を図るとともに、地域との結びつきを強めることにより、市民の交流と地域活動の発展を促す。
- ・ 関係団体と連携し、日本語教室支援ボランティア、アジア・アジアパラ競技大会種目の普及を図る指導者の育成を目指す。

②自主事業

【 講座等の実施 】

- ・ 若年層にニーズの高い趣味、教養講座（若年層の生涯学習活動の推進）
- ・ 公的機関、地域団体、自主学習グループ等との連携講座（地域コミュニティ）
- ・ 防犯、子育て支援、フレイル予防等行政施策を学ぶ講座（昭和区区政・区施策への貢献）
- ・ 昭和区民に馴染みのある公園・文化遺産・歴史資源を学ぶ講座（昭和区の魅力発信）
- ・ アジア・アジアパラ競技大会種目の体験講座（アジア・アジアパラ競技大会の機運醸成）

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

<年度ごとの指定管理料の提案額>

(単位：千円)

区 分	金 額
7年度	49,525
8年度	47,802
9年度	47,536
10年度	47,356
11年度	46,904

<年度ごとの収支計画>

【 管理運営経費 】

(単位：千円)

区 分	金 額
7年度	61,140
8年度	59,625
9年度	59,579
10年度	59,621
11年度	59,398

【 利用料金収入等 】

(単位：千円)

区 分	金 額
7年度	11,571
8年度	11,779
9年度	11,999
10年度	12,221
11年度	12,450

【 自主事業からの充当額 】

(単位：千円)

区 分	金 額
7年度	44
8年度	44
9年度	44
10年度	44
11年度	44

<経費削減の取り組み>

- ・グループ会社管理施設間とのスケールメリットをいかし、大量発注、一括調達など、経費を縮減
- ・日常清掃業務、特別清掃業務の内製化（自社または、グループ会社施工）による人件費、委託費の削減
- ・徹底したエネルギー使用量の管理を実施し、光熱水費を縮減

※端数処理の都合上、指定管理料の提案額と、収支計画が一致しない場合がある。